



7月15日にオープンした
秋田市新屋ガラス工房での制作の様子

あきた 市議会だより

No.167

平成29年
8月4日

5月臨時会・6月定例会の概要P 2～3

新しい議長、副議長を選出

議案等に対する会派別の表決状況P 3～4

一般質問P 5～8

常任委員会の審査からP 9

委員会の新しい委員の紹介P 9

平成28年度政務活動費科目別収支状況P 10

9月定例会のお知らせ（予定）ほかP 10

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。

LINEの「友だち追加」から「ID検索(@akitacity_gikai)」

または「QRコード」で登録できます。



5月臨時会 6月定例会の概要

[5月10日]

[6月8日～6月30日]

新しい議長、副議長が決まりました

議長に **小林一夫氏**
副議長に **花田清美氏** を選出



小林一夫議長

平成11年から連続5期当選。これまで決算特別委員会委員長、厚生委員会委員長等歴任。現在65歳



花田清美副議長

平成11年から連続5期当選。これまで決算特別委員会委員長、建設委員会委員長等歴任。現在63歳

6月定例会の冒頭で、議長として指名を受けました小林一夫です。

さる6月17日に秋田市中学校総合体育大会の開会式に出席しました。選手のはつらつとした入場行進、スタンド内の生徒の整然とした姿、立派さに驚かされました。秋田市の将来を担う子どもたちがこのまま健やかに成長するよう、私たち大人がしっかりとその責任を果たしていかなければならないとの思いを強くしました。

議会と行政は車の両輪とよく言われます。両輪が同じ方向を向かないと前に進まないし、互いの大きさが違っていてもうまく進むことができません。議会として行うべき事をしっかり検証し、市民に信頼される議会を目指し、議長としての職責を果たしていきたいと考えております。

あの素晴らしい子どもたちに、よい秋田市を残すためにも。

このたび、議員各位から御推挙いただきました副議長に就任することになりました。大変身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

現在、本市を取り巻く現状は、少子高齢化、人口減少、そして雇用の創出等々、非常に厳しい状況下にありますが、二元代表制の下で議会の本来のあり方を再認識し、執行機関の監視だけではなく、本市発展のための活発な議論により市民の負託にこたえるべく、信頼される議会を目指していきたいと考えております。

今後は、副議長として議長を支え、全身全霊で市勢の発展に努めていく所存ですので、一層のご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

主な議案

5月臨時会

5月10日に開催した5月臨時会では、特別職の職員との給与に関する条例の一部を改正する件などの条例案2件および予算案1件を可決したほか、秋田市内税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件などの単行案4件を承認しました。また、秋田市教育委員会教育長の任命について同意を求める件など人事案6件に同意しました。

6月定例会

6月定例会では、正副議長の選挙、常任委員・議会運営委員の選任を行ったほか、秋田市如斯亭庭園条例を設定する件などの条例案9件、単行案13件、予算案3件を可決したほか、秋田市監査委員の選任について同意を求める件など人事案22件に同意しました。

予算

地域おこし協力隊活用事業

平成29年4月1日付で委嘱した地域おこし協力隊員の定住促進等に資する取り組みを推進します。

定住促進事業

起業家マインドを醸成するワークショップの開催等
起業家マインドを醸成するための首都圏への留学事業

移住促進事業

バーベキューによる出会いの場の創出
バーベキューを活用した移住者ネットワークの形成

200万円

人事

教育委員会教育長

佐藤孝哉氏(新任)

教育委員会委員

加藤寿一氏(新任)

公平委員会委員

檜森利光氏(再任)

監査委員

高井宏司氏(再任)
三浦清氏(再任)

固定資産評価審査委員会委員

長谷部弘輝氏(新任)

県指定有形文化財「旧松倉家住宅」の修復整備に向けて、建造物調査、応急的な修理を行います。

885
万
円

ワーク・ライフ・バランス
 および一人一人が個性や
 能力を発揮できる環境づく
 りを一層推進し、女性の活
 躍を促進します。

321
万
4
千
円

市民の墓地需要に対応するため、平和公園内に新たに合葬式墓地を整備します。

園路、水場等

1
千
158
万 1
9 千
千 500
円 体

本市の公共交通網の強化につながる、泉・外旭川地区への新駅設置を推進するため、費用便益分析等を行います。

140
万
円

高齡者コインバス資格証
明書の交付対象年齢を現在の満68歳以上から満65歳以上へ拡大し、高齡者の社会参加と生きがいづくりを支援します。

- 10月1日から拡大実施
- 新規対象者（満65歳から満67歳）全員へ通知

1千396万7千円

秋田市如斯亭庭園条例を
設定

如斯亭庭園を設置し、入園料等を定めるため、条例を設定しました。

施行期日 29年10月21日から

29年10月21日から



如斯亭庭園

監査委員
小松 健氏(新任)

[illegible]

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

[illegible]

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

6月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、フロンティア秋田は議長を除く。

件名	秋水会 (16)	そうせ (6)	市民ク (4)	公明党 (4)	フロ秋 (3)	社・市 (3)	共産党 (2)	議結	決果
◆ 秋田市個人情報保護条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	×		
◆ 秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件									
◆ 秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件									
◆ 秋田市市税条例の一部を改正する件									
◆ 秋田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 秋田市如斯亭庭園条例を設定する件									
◆ 秋田市文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の一部を改正する件									
◆ 秋田市平和公園条例等の一部を改正する件	○	○	○	○	02 x1	○	○		
◆ 秋田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 公有水面埋立に関する意見を提出する件									
◆ 市道路線を認定する件									
◆ 飯島南地区コミュニティセンター（仮称）新築工事請負契約を締結する件					02 x1				
◆ 高梨台市営住宅新築工事（第3期）請負契約を締結する件									
◆ 秋田市立旭川小学校屋内運動場および特別教室棟大規模改造工事請負契約を締結する件	○	○	○	○	02 x1	○	○		可決
◆ 秋田市立泉中学校屋内運動場大規模改造工事請負契約を締結する件									
◆ 秋田市立秋田商業高等学校サッカーグラウンド改修工事請負契約を締結する件									
◆ 救助工作車を買い入れる件									
◆ 消防ポンプ自動車を買い入れる件	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 消防ポンプ自動車を買い入れる件									
◆ 救急自動車を買い入れる件									
◆ 救急自動車を買い入れる件									
◆ 平成29年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	×	○		
◆ 平成29年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	02 x1	○	○		
◆ 平成29年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院中期計画の一部の変更を認可する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 秋田市監査委員の選任について同意を求める件	○	05 除1	○	○	○	○	○		同意
◆ 秋田市農業委員会委員の任命について同意を求める件（19件）	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（2件）	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 核兵器禁止条約の交渉会議に参加し核兵器禁止条約の実現に努力することに関する意見書提出の件	×	○	○	○	○	○	○		可決
◆ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○		
◆ 地産地消を基本にした食育計画の充実等について	×	○	○	×	○	○	○		不採択
	×	×	×	×	○	○	○		
◆ 牛島東五丁目1-5先交差点への押しボタン式信号機の設置の働きかけについて	○	○	○	○	○	○	○		趣旨採択※
◆ 秋田県内の河川及び日本海のマイクロプラスチック公害に係る水環境保全条例の制定に関する意見書の提出について	×	×	×	×	01 x2	×	○		不採択
◆ 核兵器禁止条約の交渉会議に参加し核兵器禁止条約の実現に努力することに関する意見書の提出について	×	○	○	○	○	○	○		採 択

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。
「除1」の記載は、除斥により採決に加わらなかった議員が1人いたことを示しています。除斥とは、議会の審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を議場から退席させることです。

★略記している会派の名称

「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、
「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

※趣旨採択 願意は妥当であるが、その実現性の面で確信が持てないといった場合などに、請願・陳情の採択に当たり、とられる決定方法を行います。

★各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP → 議会の日程と議案の結果 → 5月市議会臨時会 → 6月市議会定例会 → 議員の表決状況

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○核兵器禁止条約の交渉会議に参加し核兵器禁止条約の実現に努力することに関する意見書

一般質問

市政全般にわたり、8人の議員が質問しました。

秋水会 菅原琢哉

◇目指すべき秋田市の姿◇中核市への権限移譲◇ローカル・アベノミクス◇危機管理体制◇観光文化◇国民健康保険◇秋田ゆかりの佐竹商店街◇千秋文庫◇教育◇少年消防団◇地域の諸課題

スタジアム・アリーナ整備

問 国の成長戦略による全国20カ所のスタジアム・アリーナ整備地域に、本市も加わるよう取り組むべきではありませんか。また、県市連携で多用途スタジアムとして商業施設と一体型のドームを検討するべきではありませんか。

答 新スタジアムは、スポーツを核に、さまざまなイベントや市民の健康づくりをはじめ、多様な世代が集う新たな交流拠点として、地域経済活性化の起爆剤になり得るものにとらえており、整備促進に向け、県が設置する検討会において、関係団体などとともに、協議を行うこととしています。国のスタジアム・アリーナ改革における支援制度の

活用や、県・市連携のあり方と本市の担う役割、議員提案の商業施設と一体型のドームのような具体案については、今後、検討会における議論のテーマになると考えています。

秋田ゆかりの佐竹商店街

問 久保田藩主の江戸屋敷跡地で発展した佐竹商店街と本市はどのようなかわりがあるのですか。また、最後の市長訪問はいつで、だれだったのですか。そして、同商店街を第2の東京事務所として、本市のPRに一役買ってもらうべきではありませんか。

答 昭和50年代に当時の高田景次市長が同商店街を訪問しており、それ以降の市長の公式訪問はなく、現時点における具体的な訪問予定はありませんが、同商店街は久保田藩ゆかりの関係にあることから、お互いのPRや紹介について、今後、同商店街の意向を確認し、効果や負担等を勘案しながら検討したいと考えています。

そうせい 宇佐見康人

◇市長公約◇市政における若者に対する情報発信の充実◇環境立市の確立◇地域経済分析システム（RESAS）の活用

地域経済分析システム（RESAS）

問 本市の観光振興に向けた方策の一つとして、同システムを活用した観光施策の提案コンテストを開催してはどうですか。

答 本市では観光施策に反映させるため、これまで市民によるまちあるき観光ルートへの検証や、外国人目線での観光資源発掘のため、市内在住の留学生によるモニターツアー等を実施しています。また、昨年度スタートした秋田市観光mYタクシーでも、市民によるモニタリングを通じて意見をいただき、今年度の事業に生かしています。こうした取り組みが地域への関心を持つ動機付けにもなることから、現時点で同システムを活用したコンテストの開催は考えていません。

子どもを産み育てやすい環境づくり

問 親子が均一料金でバスを利用することができ、（仮称）親子コインバスの導入を検討してはどうですか。

答 （仮称）親子コインバスは、子育て世帯の孤立化の解消や親子の外出機会の拡大、公共交通への転換などの効果が期待できますが、その導入に当たっては、子育て世帯のニーズや費用対効果、子育て支援策における優先度などを考慮する必要があるので、他都市の先進事例を参考に調査・研究していきます。



■請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（888）5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

市民クラブ
安井 誠悦

◇市長の政治姿勢◇財政運営
◇環境問題◇ふるさと納税◇
中心市街地の活性化◇生きる
支援としての自殺対策◇新ス
タジアム整備

新スタジアム整備

問 市長公約に掲げた新スタジアムの整備について市長が考えるスタジアムとはどのようなものですか。また、同施設整備は知事との共同公約ですが、県・市が連携して整備する考えなですか。そして、知事とは何をどこまで協議したのですか。

答 新スタジアムの整備は、知事がホームタウンの自治体や関係団体等による検討会を設置し、整備方針を確立することを公約に掲げる考えを持っていたことから、知事と意思を共有しながら、整備促進に向け、検討会への参加を公約に位置付けたものです。今後、県を主体に、検討会で整備に向けた基本方針や枠組み等が議論されることから、県・市連携のあり方や整備時期

なども議論のテーマになると考えています。新スタジアムは、スポーツを核に、さまざまなイベントや市民の健康づくりをはじめ、多様な世代が集う新たな交流拠点として、地域経済活性化の起爆剤になり得るものにとらえており、検討会の協議の動向を踏まえながら、本市の担うべき役割を果たしていきたいと考えています。

ふるさと納税

問 寄附額に対する返礼品の調達価格の割合を3割以下にするようにとの国の通知を受け、本市の対応はどうですか。

答 このたびの国の通知は、制度の健全な発展のために必要な措置であると受け止めており、本市においても制度の趣旨を尊重し、一部返礼品を見直すなど、通知に従い速やかに対応することとしています。



きりたんぼ鍋
(返礼品の一例)

公明党秋田市議会
成沢 淳子

◇人口減少対策◇観光振興による地域経済の活性化◇市民サービスの向上◇教育問題◇臨時福祉給付金

観光振興

問 北前船寄港地・船主集落の日本遺産認定や土崎神明社祭の曳山行事のユネスコ無形文化遺産登録等により、県内外や国外からの交流人口の増加が見込まれますが、観光振興による地域経済活性化にどのように取り組むのですか。

答 本市では、土崎神明社祭の曳山行事や日本遺産の構成文化財に加え、北前船ゆかりの資料を、平成30年3月開設予定の（仮称）土崎みなと歴史伝承館で紹介する予定です。また、地域資源の掘り起こしやリーフレットの作成等、日本遺産を生かした本市の観光の新たな魅力づくりに取り組んでいきます。また、日本遺産認定された11市町の連携による北前船の情報発信等とともに、広域周遊ルート

の拡大と地域経済の活性化を推進していきます。

人口減少対策

問 人口減少に歯止めをかけるには、子どもを産み育てる環境整備と雇用の創出等に重点的に取り組む必要があると考えますが、平成29年度の具体的な事業およびそれに伴う予算をどのように編成したのですか。

答 平成29年度当初予算のうち、子どもを産み育てる環境整備としては、第2子保育料無償化事業をはじめ19事業に約12億8千万円を計上したほか、今回の補正予算では企業主導型保育推進事業等に係る予算を計上し、合わせて約13億1千万円としています。また、雇用の創出等の産業振興としては、当初予算でアンダー35正社員化促進事業など23事業に約57億9千万円を計上したほか、補正予算では、なでしこ秋田・働く女性応援事業に係る予算を計上し、合わせて約58億円としています。これらの施策に前年度を上回る予算を重点配分し、人口減少対策に取り組んでいます。

ケーブルテレビで本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

9月定例会の本会議は、9月13日、25日、26日、27日、10月6日、18日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、8人の議員が質問しました。

社会・市民連合
藤枝隆博

◇市長の政治姿勢◇秋田公立美術大学との連携◇秋田市地域防災計画◇JR貨物秋田港線の利活用◇北前船寄港地・船主集落の日本遺産認定◇家庭ごみ処理手数料◇市立図書館のあり方

共謀罪(テロ等準備罪)法

問 市民の自由と民主主義を脅かし、権力の恣意的監視下に置こうとする同法の国会審議の状況と同法への市長の認識はどうですか。

答 テロ等準備罪を新設するいわゆる組織的犯罪処罰法の改正は、ヨーロッパを中心にテロが多発している状況もあり、テロを含む組織犯罪の未然防止という観点においては、必要な法整備と認識しています。これまでも、国民の間にさまざまな意見がある法案については、国会審議において十分な議論の積み重ねが重要としてきました。今後、政府においては国民の理解がさらに得られるよう、引き続き丁寧な説明が求められるものと考えています。法

律施行後は、捜査機関による恣意的な判断によって、市民団体等の活動が阻害されるなど、憲法の保障する国民の権利や自由が不当に制約されることがないよう、厳正に運用されるべきものと認識しています。

秋田公立美術大学との連携

問 同大学の景観デザインの考え方を、アートや防災の視点からも本市のまちづくりに取り込んでいく考えはありませんか。

答 同大学では、平成29年4月に大学院が開学し、地域に根ざした人材の育成への期待がさらに高まっていることから、本市が有する地域資源を生かしたアートによるまちづくりのほか、防災の視点からも地域の課題の発見と解決につながる提案をしていただくなど、同大学と連携したまちづくりを進めていきたいと考えています。



秋田公立美術大学

秋水会
田中勉

◇市長公約の実現◇障がい者福祉の課題等◇契約業務◇市民協働による除排雪◇市立秋田総合病院の整備

給付型奨学金制度の創設

問 給付型奨学金制度の創設に当たり、その財源として、きずなでホットしていきあきた寄附金や、企業や個人からも寄附金を募るなど市民全体で支える制度とし、早期実現を図るべきではありませんか。

答 本市では、人材不足の解消が必要な保育、介護分野等を対象に、本市に就職することなどを要件とした給付型奨学金制度の創設を考えています。現在、制度内容等を協議しているところであり、財源の確保については、きずなでホットしていきあきた寄附金の活用なども含めて検討していきます。



特別養護老人ホーム等の建て替え

問 都市計画法の改正により、市街化調整区域における社会福祉施設についても開発許可が必要とされることとなりましたが、今後、特別養護老人ホーム等の老朽化による建て替えが想定されることから、市として規制緩和について検討する考えはありませんか。

答 市街化調整区域内における社会福祉施設等について、敷地の拡大を伴う建て替えや移転については具体的な許可基準がないことから、現時点では開発審査会で個別具体の内容を審議し、その可否について判断することとしています。今後、老朽化した施設の建て替え需要の増加が見込まれ、許可基準の設定が必要となることも想定されることから、都市計画法の趣旨を踏まえるとともに、関係法令や福祉施策との整合性を勘案し、また、他都市の事例を参考にしながら、基準の内容について検討していきます。

インターネットによる本会議中継について

6月定例会の本会議より、従来のライブ配信(ライブストリーミング)に代え、YouTubeLive(ユーチューブライブ)によるライブ配信を開始しました。

一層利用しやすくなりましたので、ぜひインターネットによる本会議中継をご覧ください。



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

秋水会
佐藤宏悦

◇市長の選挙公約◇東南部地域の墓地の整備等◇農業の6次産業化◇農業分野におけるドローンの活用◇秋田駅東第三地区土地区画整理事業及び千秋山崎線の地下道部（鉄道横断）◇平成28年度包括外部監査◇市が出資している公益財団法人への関与

第1子保育料無償化制度

問 第1子保育料無償化制度の創設に当たり、対象範囲、対象人数、実施時期および予算規模をどのように想定し、その財源をどのように捻出するのですか。

答 第1子保育料無償化制度の実施時期は平成30年度を目指しており、対象児童については、平成30年度以降に生まれた第1子を予定していますが、所得制限等の詳細については、現在検討しているところです。なお、県でも保育料助成制度の拡充を検討していることから、その内容を注視しながら、対象人数や予算規模、財源の確保を含めた制度設計を行っていきます。

男性保育士の活用

問 男性保育士の採用の現状はどうですか。また、保育士不足解消に向けて、これまで以上に男性保育士の活用を図る考えはありませんか。

答 平成28年4月1日現在で、男性保育士は20施設に29名が在職しており、施設数、人数ともに増えてきています。しかしながら、依然として保育士は不足している状況にあることから、男性保育士の登用も促進する必要がありますと考えています。そのため、今後は男性保育士も就職しやすいような職場の環境整備について施設へ働き掛けていきます。



男性保育士

秋水会
赤坂光一

◇人口減少◇基金◇地域活性化の推進◇農業振興等◇都市間交流◇地域の諸課題

新屋ガラス工房

問 新屋地区のまちづくりへの取り組みを幅広く展開していくために、同工房の閉館時間は柔軟に対応するべきではありませんか。

答 同工房では、地域の祭りやイベントの開催時は、あらかじめ地域の関係者等と協議の上、閉館時間を延長するなどして対応する予定です。今後は、地域の交流拠点としてより多くの人に活用されるよう、来館者の状況や地元ニーズ、運営体制などを検討しながら、柔軟な対応に努めていきます。



秋田市新屋ガラス工房

都市間交流

問 郷土愛をなくむためにも佐賀県武雄市と友好都市のような関係を築くことは考えられませんか。また、戊辰戦争が始まった年から150年となる平成30年度に同市へ竿燈を派遣できませんか。

答 武雄市とは、戊辰戦争という歴史的なつながりを背景として両市の市民が互いに感謝・尊敬の念を持ち、市民主体の交流が行われてきており、都市間交流として大変意義深いものであると認識しています。これまで培われてきた相互の深い信頼関係に基づき、この事実が忘れ去られることのないよう、今後も市民が主役の交流を継続していくことが大切と考えており、本市としては、友好・姉妹都市等の連携など、交流の形にとらわれずに両市民の交流が将来にわたって継続されるよう支援していきます。また、武雄市への竿燈派遣については、これまでの両市における交流を踏まえ、平成30年度の実施に向けて検討していきます。

議会の動き

5月10日 5月臨時会
22日 議会運営委員会
各派会長会議
議会運営委員会

5月31日 各派会長会議
6月5日 各派会長会議
議会運営委員会
6日 各派会長会議
7日 議会運営委員会

6月8日 6月定例会
(6月30日まで)
7月12日 編集委員会
19日 編集委員会
27日 各派会長会議

常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、
消防本部などの所管事項

委員

20年間使用した救助工作車を更新するため新車を買入れ入れることについて、工作車の車両本体および積載される資機材が以前と比較して大きく変わっていると思われるが、職員はすぐに運転や操作を行うことができるのか。

消防本部

納車後の約10日間は、職員に対して新車の車両本体および車両に積載している資機材の習熟訓練を行い、職員の習熟度を確認した上で、新車の使用を開始しています。なお、その間の災害対応は現在の車両を運用することとしています。



救助工作車

教育産業委員会

観光文化スポーツ部、産業振興部、
教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

公有水面を埋め立てる理由として、向浜地区に立地している企業の将来的な燃料需要の増大が挙げられていますが、県からは、工事完成予定の平成44年の燃料需要をどのように見込んでいると説明を受けているのか。

産業振興部

県が実施した企業ヒアリングにおいて、平成40年には、石炭や木材チップ、やしなどが合計で約88万1千トンの燃料需要が想定されており、平成27年と比較して約60万トンの増が見込まれるとの説明を受けています。



公有水面埋め立て予定地

委員会の新しい委員を紹介します

予算決算委員会 ◎齊藤善悦(秋水)○細川信二(秋水)ほか議長を除く全議員

総務委員会

◎小野寺 誠(秋水)○武内伸文(そう)
鎌田修悦(秋水)菅原琢哉(秋水)
佐藤宏悦(秋水)小松健(そう)
花田清美(市ク)武田正子(公明)
鈴木知(共産)

厚生委員会

◎川口雅丈(秋水)○宇佐見康人(そう)
赤坂光一(秋水)熊谷重隆(秋水)
細川信二(秋水)安井誠悦(市ク)
石塚秀博(公明)倉田芳浩(フ秋)
藤枝隆博(社市)佐藤純子(共産)

教育産業委員会

◎松田豊臣(公明)○田中勉(秋水)
小木田喜美雄(秋水)齊藤善悦(秋水)
渡辺正宏(秋水)小原譲(そう)
藤田信(そう)渡辺良雄(市ク)
佐藤哲治(フ秋)長澤孝政(社市)

建設委員会

◎工藤新一(社市)○安井正浩(秋水)
工藤四郎(秋水)岩谷政良(秋水)
伊藤一榮(秋水)齊藤勝(そう)
見上万里子(市ク)成沢淳子(公明)
伊藤巧一(フ秋)

議会運営委員会

◎伊藤巧一(フ秋)○見上万里子(市ク)
小木田喜美雄(秋水)菅原琢哉(秋水)
佐藤宏悦(秋水)細川信二(秋水)
齊藤勝(そう)藤田信(そう)
武田正子(公明)藤枝隆博(社市)

◎は委員長、○は副委員長、()は会派名で、
「秋水」は秋水会、「そう」はそうせい、「市ク」
は市民クラブ、「公明」は公明党秋田市議会、
「フ秋」はフロンティア秋田、「社市」は社会・
市民連合、「共産」は日本共産党秋田市議会議
員団

● ● ● 政務活動費の使い道を公開しています ● ● ●

政務活動費は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、残余金がある場合は市に返還されます。また、平成23年度以降の政務活動費収支報告書（平成25年度から政務調査費から政務活動費に名称が変更）は、領収書等も含めて公開しています。閲覧を希望する方は、議会事務局総務課（電話 888-5782）までお問い合わせください。

平成28年度政務活動費科目別収支状況

（金額単位：円）

項 目	秋水会	そうせい	市民クラブ	公明党 秋田市議会	フロンティア 秋田	社会・市民 連合	日本共産党 秋田市議会 議 員 団	合 計
所属議員数	16人	6人	4人	4人	4人	3人	2人	39人
交 付 額	19,200,000	7,200,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	3,600,000	2,400,000	46,800,000
預 金 利 子	99	41	16	3	3	22	9	193
会派繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0
収 入 合 計	19,200,099	7,200,041	4,800,016	4,800,003	4,800,003	3,600,022	2,400,009	46,800,193
支 出								
研究研修費	3,156,882	341,111	250,996	992,354	552,442	65,740	237,461	5,596,986
調査活動費	6,747,186	1,224,949	770,938	963,372	1,060,866	251,773	238,803	11,257,887
資料作成費	2,123,422	554,909	939,560	646,552	331,666	382,320	131,040	5,109,469
資料購入費	1,505,338	680,184	720,909	470,148	287,984	547,208	149,729	4,361,500
広 報 費	2,543,829	2,238,898	1,526,601	944,409	1,965,479	139,371	785,967	10,144,554
広 聴 費	0	6,876	0	0	18,620	0	6,500	31,996
人 件 費	541,020	76,000	0	0	106,234	91,485	219,575	1,034,314
事 務 所 費	0	15,160	0	0	0	0	0	15,160
事 務 費	1,492,574	302,778	458,731	520,073	461,152	605,191	179,751	4,020,250
支 出 合 計	18,110,251	5,440,865	4,667,735	4,536,908	4,784,443	2,083,088	1,948,826	41,572,116
残 余 金	1,089,848	1,759,176	132,281	263,095	15,560	1,516,934	451,183	5,228,077

9月定例会のお知らせ（予定）

■ 日程

- 9月13日 本会議
- 25日～27日 本会議「一般質問」
- 28日～10月2日 常任委員会・分科会（土日除く）
- 10月4日 常任委員会
- 6日 本会議、常任委員会
- 10日～12日 分科会
- 16日 常任委員会
- 18日 本会議

■ 一般質問予定者

- 細川信二、川口雅丈、熊谷重隆、工藤四郎（秋水会）
- 齊藤勝（そうせい）
- 石塚秀博（公明党秋田市議会）
- 伊藤巧一（フロンティア秋田）
- 長澤孝政（社会・市民連合）
- 佐藤純子（日本共産党秋田市議会議員団）

次のあきた市議会だよりは平成29年12月1日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
※日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

編集委員が2年ぶりに新たな顔ぶれになりました。市民の皆さまにわかりやすく、親しみやすい議会だよりとなるよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

（編集委員一同）

- 委員長 藤 枝 康 隆
- 副委員長 宇 佐 勉 人
- 委員 田 中 芳 浩
- 委員 安 井 淳 子
- 委員 成 澤 悦 人



新しい編集委員です

